


一般質問通告書

佐野市議会議長 様

		平成 30年 11月 26日	受理者印
		午前 午後	11時 00分 受理 
議会名	平成 30年 第 4 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 9 番 氏名 亀山 春夫		
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	一問一答 ・ 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 遊休農地の解消対策について	<p>①耕作放棄地、遊休農地とは、どの様な判断基準があるのか。</p> <p>②耕作放棄地、遊休農地、荒廃農地、土地持ち非農家等の全体像はどの様に把握されているのか。</p> <p>③土地持ち非農家所有面積 437ha(平成 17 年度)となっておりましたが平成 27 年度 521ha と増加しております。増加の主な要因はどの様な事で発生しているのか。</p> <p>④平成 29 年度の活動点検評価表で総耕地面積 4,180ha、遊休農地 59ha あり解消目標を 5ha として実績 12.2ha と 244%の実績となっておりますが、どの様な対策を取ったのか。</p> <p>⑤農業委員会は、農地法第 30 条において、毎年 1 回、農地の利用状況を調査しておりますが、その一連の遊休農地対策はどのようなものか。</p> <p>⑥利用状況の結果に基づき、農地法第 32 条において利用意向調査を行う事になっておりますが、調査の結果はどのような状況か。</p> <p>⑦意向調査の結果に伴い、農業委員会はどのような措置を取るのか。</p> <p>⑧意向調査に伴う措置を行った結果、改善事例はあるのか。</p> <p>⑨平成 29 年度から遊休農地に対する課税が強化されるとなっておりますが、具体的にはどの程度か。</p> <p>⑩遊休農地・耕作放棄地は、後継者や受け手がない、経済性が望めない、土地条件が悪い、鳥獣被害が多いなどの要因があり、その対策としてどの様な事に取り組んでいるのか。</p>		

2. 全国山城サミット佐野大会後の誘客拡大について

- ①遊休農地・耕作放棄地の解消対策は国庫事業、県単事業がありますが、適応事例はどうか。
- ②解消対策には、地域住民の意識の高揚や活性化に向けた協同の動機づけなど、行政との連携・協力体制作りが重要です。町会や地区団体などへの理解活動は、どの様に行っているのか。
- ③全国山城サミット佐野大会後の主な取り組み事業はどの様な事があるのか。
- ④佐野市にはどのような魅力的な観光資源があり、また観光客入込数は全体でどのくらいか。
- ⑤それぞれの観光資源も大切であります、唐沢山城跡の活用連携はどの様に図られているのか。
- ⑥近江八幡市の事例では「安土城をこのままで終わらせたくない」として VR(バーチャルリアリティ)にて天正9年(1581年)創建当時の安土城を中心とした家臣の屋敷、城下町をCGで再現し、ショートムービーを史実に基づき作成。信長の館で鑑賞体験(大人600円)ができる。佐野市においても唐沢山城の創建時の史実をVRによる新たな体験・アプリによるPRが誘客への手段となるのではないかと。
- ⑦佐野市においてもスマートフォン等を活用した、体験アプリの様なものはあるのか。
- ⑧佐野市の関係者の名刺にQRコードを印刷しスマートフォン等で読み取ると、市内の観光ルートや史跡などの紹介が誰でも見られる取り組みはどうか。
- ⑨アプリやコンテンツの開発・修正など費用面での組み立ても重要であります、今後の誘客や期待される経済効果も推し量り、積極的な関係諸団体・関係者との連携、取り組みが必要ではないかと。
- ⑩佐野市においても「唐沢山城史跡をこのままでは終わらせたくない」として文化的・歴史的遺産の活用、認知度向上の推進事業が必要と思うが、どうか。